

## 6.5 教育の質の向上

### 進捗状況報告

経営戦略専攻

1. 教員の資質維持向上の方策  
 授業内容および授業方法の改善を図るために自己評価委員会を立ち上げた。自己評価委員会には授業評価・FDの検討を行う授業評価・FD部会を設けた。授業評価・FD部会は、授業内容や方法の改善を目指している。

①授業内容に関しては、春学期、秋学期の授業終了時に全科目について受講生による授業評価を実施している。評価結果の集計は、科目担当者の自己評価と合わせて公表している。

②授業方法に関しては、教員同士でプレゼンテーションやディスカッションをする研究会や、教員同士の授業参観および参観後の意見交換会等を実施した。また、外部の人材を含めた研究会等を検討中である。

また、平成18年度・19年度文部科学省・専門職大学院教育推進プログラム「企業家の戦略的役割」において、専任教員および任期制実務家教員が、企業家および企業における実務家へのインタビューをもとに教材用のビデオおよびケースの作成に携わった。インタビュー等を通じた企業人との交流により産業界の生の情報を得るとともに、教材用ケース作成のノウハウを教員の間で共有化し、教育能力の向上を図った。

2. シラバスの提示  
 毎学年度の始めに、(1) 科目の目的と概要、(2) 授業方法、各回の授業内容（テーマ・ねらい、講義内容の概略等）、(3) 成績評価方法・基準、(4) 準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連、(5) 教科書・参考文献について、全科目のシラバスを学生に提示している。

3. 授業科目別成績統計表および定期試験問題の縦覧  
 全学期の成績統計表や定期試験問題を一定期間全教員に縦覧することとしている。その趣旨は、各授業科目担当者の今後の授業計画、試験・評価基準の判断材料とすることにある。縦覧は、定期試験実施の翌学期早々に実施している。

会計専門職専攻

1. 教員の資質維持向上の方策  
 (1) 授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修等の実施に関する対応  
 授業内容および授業方法の改善を図るために自己評価委員会を立ち上げた。自己評価委員会には授業評価・FDの検討を行う授業評価・FD部会を設けた。授業評価・FD部会は、授業内容や方法の改善を目指している。

① 授業内容に関しては、春学期、秋学期の授業終了時に全科目について受講生による授業評価を実施している。評価結果の集計は、科目担当者の自己評価と合わせて公表している。

② 授業内容や授業方法の改善のために、教員同士の授業参観および参観後の意見交換会等を実施した。また、外部の人材を含めた研究会等を検討中である。

(2) 実務経験を持たない教員と実務家教員の教育能力の維持・向上  
 (3) 実務と理論を統合する高度な専門教育の充実をはかるための具体的計画等  
 (2)(3)については、産学連携による研究に従事し成果の発表を行うことにより、教育能力の維持・向上に努めている。また実務と理論とのギャップを埋める機会の提供を計画中である。

2. シラバスの提示  
 毎学年度の始めに、(1) 科目の目的と概要、(2) 授業方法、各回の授業内容（テーマ・ねらい、講義内容の概略等）、(3) 成績評価方法・基準、(4) 準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連、(5) 教科書・参考文献について、全科目のシラバスを学生に提示している。

3. 授業科目別成績統計表および定期試験問題の縦覧  
 全学期の成績統計表や定期試験問題を一定期間全教員に縦覧することとしている。その趣旨は、各授業科目担当者の今後の授業計画、試験・評価基準の判断材料とすることにある。縦覧は、定期試験実施の翌学期早々に実施している。

### 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

教材開発部会は発展的に解消し、個別プロジェクトから教材開発に結び付けている。

1. MOTプログラム：経済産業省「技術経営人材育成プログラム導入促進事業」支援を受けて開発  
 2. 現代企業家の戦略的役割：文部科学省「専門職大学院等教育推進プログラム」の支援を受けて開発

### 学内第三者評価

教員の資質維持向上の方策について、「授業評価の実施」は春・秋学期の授業終了時に全科目について実施しており、評価結果の集計は、科目担当者の自己評価と合わせて公表していることは評価できる。また、両専攻とも授業評価・FD部会を立ち上げ、教員同士の授業参観や意見交換をしているのは優れた取り組みである。ただ、授業評価の結果をどのように授業内容及び方法の改善に結びつけているかの記述がないのは残念である。

また、「自己評価委員会」のもと「授業評価・FD部会」と「教材開発部会」を立ち上げたとのことだが、「教材開発部会」に関する記述が見受けられない。実務家教員といわゆるアカデミック教員との相互補完的な教員の資質向上の方策について、特に会計専門職専攻に関しては今後に期待する。

シラバスの提示、授業科目別成績統計表および定期試験問題の縦覧等適切に実施していると評価できる。

なお、開設時に設定した目標以外の項目について、自己点検・評価を行っていないのは、多少問題である。より質の高い「教育・研究の質の向上」に関する目標を設定していくことが望まれる。

なお、特別委員から以下の意見があった。  
 ・目標は達成されていると判断できる。FDのための種々の取組や、授業科目別成績統計表および定期試験問題の縦覧制度は先進的である。